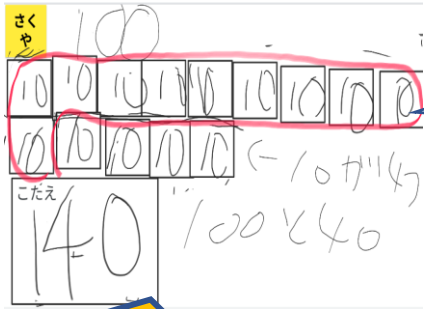


リーディングDXスクール事業【実践事例】

大村市立東大村小学校（長崎県）

【取組内容①】 学習の課題解決場面におけるジャムボード活用（算数科）



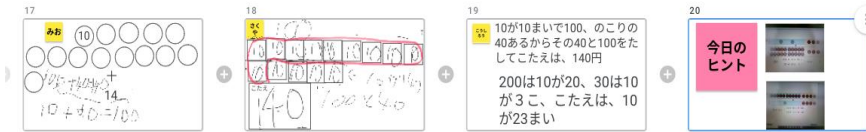
考えをジャムボードに直接書き込む

児童は、どの方法で解くか、どこに表現するなど自己選択の幅が広まった

半具体物をつかった説明をさせるためには、教師の事前準備にかかる時間が多かったが、写真や動画で考えを説明させることができるようになってから、準備の時間が減った



まず、考えをノートやボード、半具体物を使って表現し、その後、ジャムボードにアップロードする



児童は、他者参照機能を活用して多様なヒントを得ながら考えを自己調整できるようになってきた

児童は、従来のように特定の発表者だけでなく、全ての他者の考えを共有できるようになった

教師は、全ての児童の進捗状況を端末のみで確認できるようになった

教師は、授業後の評価資料を端末のみで確認できるようになった

事前に添付しておいたヒントや他者参照を通して得たヒントを手がかりに粘り強く解決に向かう

今日のヒント

